

いわみざわ男女共同参画マガジン

# ア・ライク

ア・ライク (A'like) ～共に生きる～  
〈同様の・等しく〉という意味を持ちます。

2023年 VOL. 21



〈岩見沢名所探訪シリーズ⑧〉

## 東部丘陵地域に向かう コミュニティバス

写真は、東部丘陵地域と岩見沢市外地を結ぶ「東部丘陵線コミュニティバス」です。あ・らいくな人で紹介している MAYA MAXX さんが車両にペイントしました。東部丘陵地域に住む動物たちが色鮮やかに描かれています。

## コンテンツ

- 特集 アンコンシャス・バイアスに気づこう！
- あ・らいくな人 (MAYA MAXX さん)
- 第14期ステップアップ講座を開催
- 男女共同参画地域づくりセミナーに参加して
- 市民会議の活動報告

# 特集 アンコンシャス・バイアスに気づこう！

皆さんは、自分や相手に対して「男らしく」「女らしく」と思った経験はありませんか？それはアンコンシャス・バイアスかもしれません。内閣府男女共同参画局が行った「令和4年度 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究」から、自分の中にあるアンコンシャス・バイアスについて考えてみませんか？

## アンコンシャス・バイアスとは？

「無意識の偏見」や「無意識の思い込み」のことです。これまでの育った環境や過去の経験などから、知らず知らずのうちに持ってしまった思い込みや偏見です。アンコンシャス・バイアスは、日常生活の中にあふれており、誰もが持っているものです。

## 『アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)』の認知度

回答者全体の76.3%が、家庭や職場等で性別に基づく役割や決めつけられた経験があったにも関わらず、『アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)』という言葉の認知度は、**21.4%**でした。

## 性別役割意識調査

性別役割意識について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階で調査したところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計で男女共に上位に入った8項目のうち7項目は、**男性の方が高い割合**となっています。

(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計)  
■は、男女両方で上位10位に入っている項目

	男性 上位10項目	回答数:5452	(%)
1	男性は仕事をして家計を支えるべきだ		48.7
2	女性には女性らしい感性があるものだ		45.7
3	女性は感情的になりやすい		35.3
4	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ		34.0
5	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきではない		33.8
6	女性がか弱い存在なので、守られなければならない		33.1
7	男性は結婚して家庭をもって一人前だ		30.4
8	男性は人前で泣くべきではない		28.9
9	女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い		28.6
10	共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ		28.4

	女性 上位10項目	回答数:5384	(%)
1	男性は仕事をして家計を支えるべきだ		44.9
2	女性には女性らしい感性があるものだ		43.1
3	女性は感情的になりやすい		37.0
4	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきではない		33.2
5	女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い		27.2
6	女性がか弱い存在なので、守られなければならない		23.4
7	共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ		21.6
8	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ		21.5
9	組織のリーダーは男性の方が向いている		20.9
10	大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい		20.9

男女共に1位は、「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」です。その他男女差が大きく開いたのは、「男性は～べきだ」という次の3項目で、全体的に男性が高い割合になっています。

- ・「デートや食事のお金は男性が負担すべきだ」(男性 34.0%、女性 21.5%)
- ・「男性は結婚して家庭をもって一人前だ」(男性 30.4%、女性 17.9%)
- ・「男性は人前で泣くべきではない」(男性 28.9%、女性 17.6%)

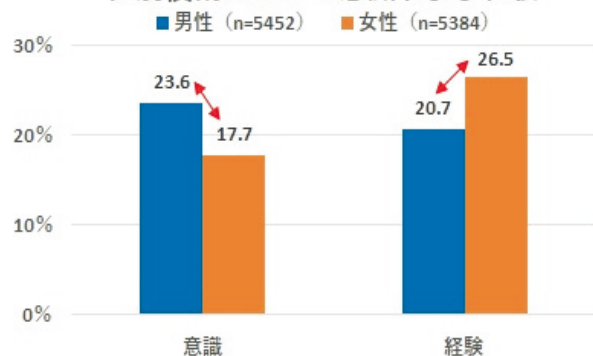


## 男女差でみえるアンコンシャス・バイアス

性別役割の「意識」は男性が強い一方で、直接言われた、あるいは言動や態度から感じた「経験」は女性の方が**多い**結果になっています。

男性は女性と比べて、性別に基づく役割を直接言われた、あるいは言動や態度で間接的に接した「経験」は少なく、伝統的な役割観に自身がとらわれていることに気づいていない可能性があります！

## 性別役割について意識および経験

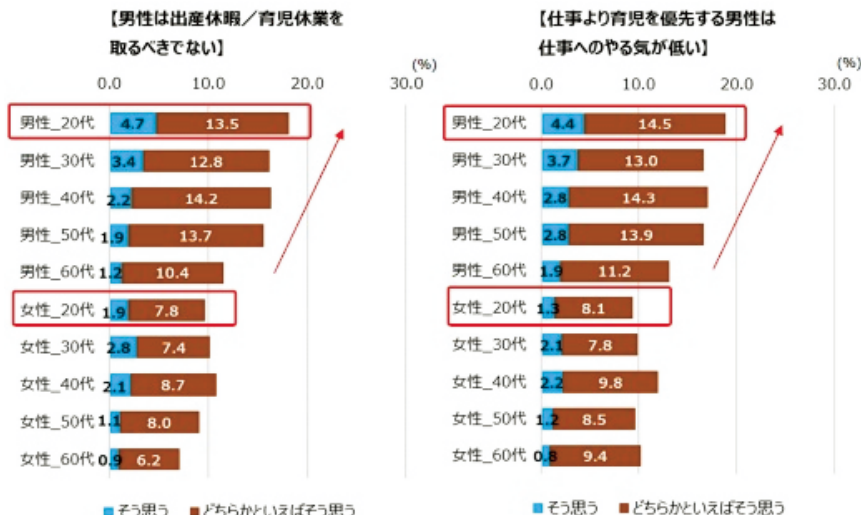




## 職場項目におけるアンコンシャス・バイアス

職場の役割分担に関する項目において、20代男性の回答は性別による役割分担意識の高いものが多くみられる結果となりました。

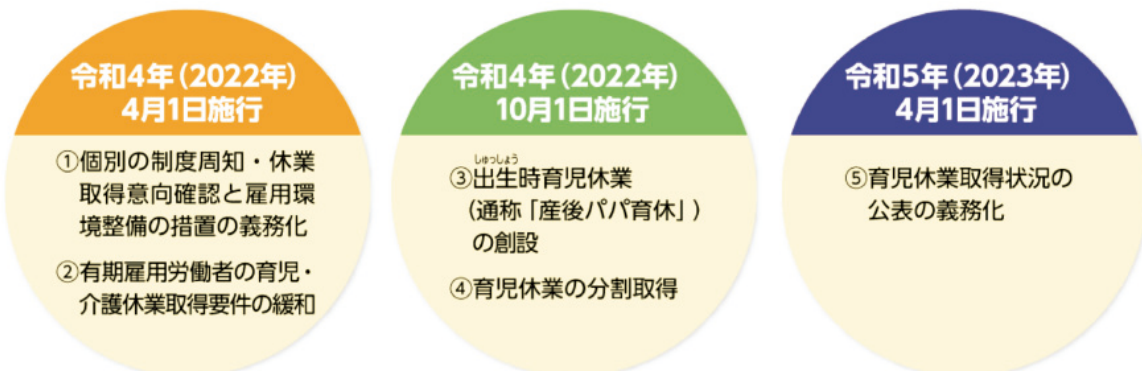
さらに、「男性は出産休暇/育児休業を取るべきでない」、「仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い」については、20代の男女間でも大きな差が見られました。



## パパ育休が始まっています！

「育児・家事は女性がするもの」「男性が育児休暇をとるなんてありえない」という考え方は、アンコンシャス・バイアスだと思いませんか？

出産・育児等による離職を防ぎ、希望に応じて男女共に仕事と育児等を両立できる社会を目指して、令和4年4月から段階的に育児・介護休業法が改定されました。



「育児休業等を取得したかったができなかった」とする男性労働者は約4割おり、希望が十分になっていない現状があります。(参考：労働審議会建議(令和3年1月18日「男性の育児休業取得促進策について」より)  
これをきっかけに男女共に働き方を見直し、仕事と家庭を両立できる環境作りに取り組みましょう！

## 「気づく」ことが大切！

アンコンシャス・バイアスを放置してしまうと、周囲に不快な気持ちを与えるなど人間関係の悪化や、自身の視野を狭めてしまう恐れなど様々な問題を引き起こします。アンコンシャス・バイアスは、完全になくなるものではありませんが、気づいて意識することで、お互いに支え合うことができる職場や社会の実現につながります！



**①知る**  
アンコンシャス・バイアスとは何かを知る。



**②気づく**  
自分にどのようなアンコンシャス・バイアスがあるのか認識する。



**③対処する**  
様々な角度から物事を見たり、言動に気を付けて改善する。



画家

マヤ マックス  
**MAYA MAXX さん**

【プロフィール】

愛媛県今治市出身。

絵画、絵本など様々なジャンルで多彩な活動を行う。

「ボンキッキーズ」などのテレビ出演や、CharaのCDジャケットデザイン、サントリーの「マグナムドライ」のCMにイラスト提供。吉本ばななや北川悦史子などその他多数の装丁画を提供。1993年に初個展を開催以降、毎年個展を開催。



2020年夏に東京から美流渡地区に移住し、コミュニティバスのペイントをした MAYA MAXX（マヤ マックス）さんにインタビューをしました！

## お名前の由来を、教えてください！

初めは本名で活動していたけどなかなか制作や発表が思うようにならず、思い切って改名しました。MAYAは本名です。MAXXのXが重なっているのは、ふと頭に浮かんだ文字がそうになっていたからです。30年以上MAYA MAXXでやっています。元々内向的な性格だったけど、名前を変えたことで気持ちも明るくなり、自分自身が変わっていききましたね。

## 美流渡への移住のきっかけは何ですか？

美流渡に移住していた来嶋さん\*主催の2016年のワークショップで岩見沢に来たのが始まり。節目節目に不思議とご縁のあった来嶋さんが住んでいたこともあり、引っ越しを決めました。一番の決め手は自分のアトリエが欲しかったこと。東京は家賃が高くて、十分な広さのアトリエを持つことが難しい。初めは東京と美流渡を行き来する予定でしたが、新型コロナの影響で行き来が難しくなったこともあり、東京は引き払い、完全に美流渡に定住しました。

※来嶋路子さん～2011年に岩見沢市に移住し、みると一歩プロジェクトを手掛けたり、美流渡で森の出版社ミチクルを立ち上げるなど、東京と北海道を行き来しながら活躍しているフリーランスの編集者。

## 移住してみてどうですか？

住んでみると、本当に雪が多くて驚いています。初めの年は雪をただ見ているしかできませんでしたが、今では雪かきもいかに上手にできるかを楽しんでいます。住むと1年を通して美流渡を見ることができるよう。毎日美しい景色を見られることが、これほど表現に影響するとは思いませんでした。本当に美しいものは「自然」。東京と美流渡では見えるものが違う。素晴らしいと思います。

## 移住後に、創作活動に何か変化はありましたか？

日々、自然の中で感じることを実感を持って描くことができています。美流渡に来てからは、頭で考えるのではなく、本当に自分の目で見ていいなと思っただものを描いている。素材の宝庫で、自然に対する意識も変わりました。



## 都会と地方の芸術活動の発信方法についての違いはありますか？

都会は室内での展示が多いですが、地方は町のあちこちに絵を描ける場所があることが魅力だと思います。みんなが見て心が癒されるようなものを描いていきたい。始まりは、廃校になった美流渡小・中学校の壁に絵を描いたこと。屋外で描いていると作業中も通勤の人などの目に留まる。それがきっかけとなり、安国寺、モリタンの冷蔵倉庫、コミュニティバス、美流渡のカレー屋、堤商店と描く場所が広がっていきました。市内の中心部にも広げていけたらいいなと思っています。

## 今後やってみたいことは？

やってみたいことがどんどんあふれてきています。次は美流渡の学校のグラウンドの真ん中に、北欧で見られるメイポールのような大きな柱を立てたい。柱は天と地を結ぶもので、人の気持ちが集まるもの。企業にも協力してもらって、みんなで何かを作り上げられたら素敵ですね。自分がそのきっかけになればと思っています。



MAYA MAXXさん（下段中央）を囲んで一枚。来嶋さん（下段右）にも同席していただき、なごやかに取材させていただきました。雪と格闘しながらも自然と楽しみ、創作に意欲を燃やされている様子は、とても頼もしく感じられました。



# 2022 男女共同参画市民フォーラムの開催

テーマ：「なりたい自分」をあきらめない！ 明日につながるトライを！

日時：令和4年6月26日（日）午後1時30分

会場：岩見沢市民会館 まなみーる 多目的室

講演 南極ではたらく～かあちゃん、調理隊員になる～

講師 渡貫 淳子さん（第57次南極地域観測隊 設営・調理）



母としては初の調理隊員として南極地域観測隊に参加し、「悪魔のおにぎり」の生みの親でもある渡貫さん。

当時は主婦であり、人と違うことをするのは勇気があることで、日常の忙しさや、やりたいことを実現する難しさを感じながらも、夢に向かった努力やスキル、人との関わりは自分の糧になるとお話をされました。



同時開催！

## 第七回男女共同参画川柳コンテスト表彰式

36名の方から100作品の応募がありました。毎年4月に作品を募集しています。詳しくは、広報いわみざわや市ホームページをご覧ください。沢山のご応募お待ちしております！

### 《大賞》

お互いの家事を褒め合い照れ笑い

安藤 真由 さん

### 《入選》

協調の広がる先に多様性

上野 千夏 さん

ジェンダーレス個性豊かな花が咲く

金子 幸男 さん

ありがとうその一言で疲れ飛ぶ

角田 悠生 さん

お弁当/パパが作るとまだ驚かれる

細井 ちよこ さん

「当たり前」そんな言葉に負けないで

宮原 孝明 さん

(※入選は順不同)



←応募方法など詳しくはこちら！

## オススメの本を紹介します！

令和4年度の男女共同参画週間では、岩見沢市立図書館の協力のもと、男女共同参画に関わる書籍を展示しました。この2冊以外にも沢山ありますので、ぜひ足を運んでみてください！



「時代をきりひらいた日本の女性たち」  
監修/落合恵子  
文/小杉みのり  
発行/岩崎書店

子どもも大人も読みやすい本になっています！  
様々なジャンルで活躍した女性を知れる本です。



「お先に失礼します！  
共働きパパが見つけた  
残業しない働き方」  
著者/中村一  
発行/KADOKAWA

ワーク・ライフ・バランスのヒントが見つかるかも！？4コマ漫画もあって面白い一冊です。



# 第14期ステップアップ講座を開催

新型コロナウイルスの影響で2年ぶりの開催となったステップアップ講座。沢山の方のご参加ありがとうございました。

## 【第1回】お家も心もスッキリ暮らそう！！～心の声を叶える～ 三星 美貴 さん（整理収納アドバイザー） 令和4年10月23日(日) 午後2時～3時30分

収納のプロとして、自宅での収納方法の提示や片付け代行サービスなどをされている三星さん。

物を元に戻しやすいシステム作りの提案はできても、物を捨てられない理由や片付けの正解は一人一人の心にあるため、心の声を形にする練習（＝自分と向き合うこと）が必要で、そのサポートを行っているとのこと。

片付けたい気持ちは同じでも、人によって必要な物や使用頻度は異なるため、まず物を全て出して使うか・使わないかで分け、それから収納方法を考えると自分に合ったシステムとなるのだそうです。

また、受講者同士での意見交換からは、「シンプルな暮らしがしたい」、「使わない物だらけと気づいた」など、片付けの悩みは皆さん共通していると感じました。

「心の声を聴いて、その声を言葉にして幸せを叶えましょう」と結ばれ、自身の暮らしを見返す良い機会となりました。



## 【第2回】弁護士が語る～知っておきたい家庭の・男女の法律問題 田村 秀樹 さん（岩見沢ななほし法律事務所 所長 弁護士） 令和4年11月27日(日) 午後2時～3時30分



田村さんは、大阪府枚方市出身で平成24年に弁護士資格を取得し、その後は道内の法律事務所に勤められ、平成30年に岩見沢で開業されたと自己紹介からはじまりました。

弁護士の役割としては、代理人として相手との交渉、書面の作成、調停や訴訟への出席等。弁護士が扱う「男女の問題」では、交際中・婚姻中・離婚時のそれぞれにトラブルがあって、交渉や裁判手続で代理人を付けるには弁護士しかその資格がないとのこと。

ストーカーについては、摘発件数は減少傾向にありますが、ストーカー行為自体は多くなっていて、ストーカー規制法が少しずつ厳しく改正されているとのこと。

また、DVについては、相談件数が増加しているが、DV防止法や保護命令の制度でDV被害者の保護が一定程度図られているとのこと。離婚については、お互い離婚に納得しない場合には裁判となるが、この場合には、法律で決められた離婚事由が必要になり、また、長いケースでは解決までに1年以上かかるため、エネルギーが必要とのこと。弁護士費用については、経済的に余裕がない方が費用の立替相談などができる「法テラス」があるので、一人で抱え込まずに相談してほしいと締めくくりました。



# 男女共同参画地域づくりセミナーに参加して

岩見沢市男女共同参画地域づくりセミナーに参加し、LGBTやDVについて知識を深めました。

## いわみざわLGBTセミナー 令和5年1月22日(日)午後4時～6時

### ■講義：「多様な性を生きる私たちのリアル～基礎編～」

グループワーク：「多様な性が当たり前の社会へ～応用実践編～」

講師：中谷 衣里 さん(NPO法人 北海道レインボー・リソースセンターL-Port 代表理事)

講師の中谷さんは旭川市出身で、NPO法人でセクシュアルマイノリティの若者達の支援活動やLINE相談の運営などを行っています。15年来のパートナーと一緒に札幌で暮らしていて、結婚の自由をすべての人に訴訟(通称：同性婚裁判)の原告にもなっているとのこと。

「多様な性」というテーマのもとクイズやグループワークを入れながら、2時間の講義。今回のセミナーの出席者は、皆さんLGBTの言葉と意味を知っていたので、講義もスムーズに進められました。

性を構成する4要素「性別」「性自認」「性表現」「性的指向」があり、この組み合わせでセクシュアリティが決まるが、それは人によって様々であること。LGBTの人口比率は7.6%と言われており、日本の4大苗字(佐藤、高橋、田中、鈴木)を持つ人口とほぼ同数であるとのこと。



カミングアウトされた時の心構えやアウティングの危険性、誰でもアライ(支援者)になることができ、レインボーカラー※を身に着けて表明することができるなどについても話されました。

自治体のパートナーシップ宣誓制度についても触れていましたが、自治体独自の制度ではカバーできない問題もあるため、早く国が多様な性を前提とした制度を整えることが望まれます。

※レインボーカラー～LGBT(セクシュアルマイノリティ)の尊厳と社会運動の世界的なシンボル。



## いわみざわDV防止セミナー 令和5年1月29日(日)午後2時～4時

### ■講義：「DVの構造を考える～DV被害者支援現場の現状～」

グループワーク：「実際のケースを考える」

講師：山崎 菊乃 さん(NPO法人 女のスペース・おん 代表理事)



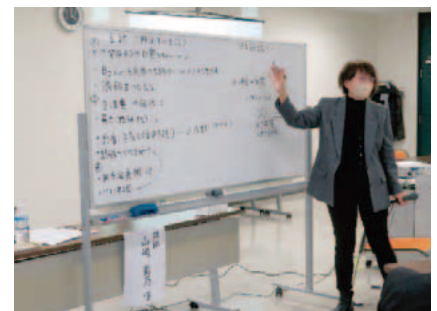
DV被害者は「夜の海に飛び込むような思いで加害者から逃げている」と表現をされたのが印象的でした。女のスペース・おんは、まだDVという言葉もない時代から女性の人権団体として活動されており、山崎さんは被害者として支援を受けた経験から活動を始めたそうです。

公的・民間の相談機関はシェルター入所中・退所・自立後と段階によって様々に連携していることや、DVの背景にはジェンダーバイアス※があり、経済的・体力的な弱者である女性が被害に遭いやすい傾向にあることも理解できました。

グループワークでは、身近な人がもし暴力を受けていたら自分には何が出来るか、また、岩見沢市ならどこに相談できる?と考えながらディスカッションを行いました。

被害者が絶望的で孤立した状況に置かれないよう、私たち市民はDV被害者救済の為に知識や情報を持ち、迅速な行動がとれるようになることが大事だと思いました。

※ジェンダーバイアス～社会的・文化的に作られた性差に基づく偏見・思い込みのこと。





# 市民会議の活動報告

令和4年度の啓発活動は、啓発展示・啓発グッズ配布を実施した他、岩見沢市立図書館で男女共同参画に関する書籍の展示も行いました。



## 生理用品の寄附 令和4年8月17日

コロナ禍で生理の貧困問題がクローズアップされたことをきっかけに、実行委員のカンパで市に生理用品を寄附しました！



## パープルリボンプロジェクト 令和4年11月11日～25日

11月12日から25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて、市内4か所でDV防止を呼び掛けるパネル展・啓発グッズの無料配布を実施しました。また、今年から、岩見沢市立図書館でDVに関する書籍の展示を行いました。

## 2023 男女共同参画市民フォーラム開催決定！！

今年は、マンガ研究者で日本マンガ学会の設立や京都国際マンガミュージアムの開館に尽力した、京都精華大学専務理事・マンガ学部教授の吉村和真さんを講師にお招きし、マンガから見るジェンダーについての講演を6月25日（日）に予定しています。

詳細が決まり次第、市ホームページやチラシにてお知らせします！



## 市民会議会員募集中

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議では、会員と一緒に活動していただける方を募集しています。

男女共同参画への理解を広めるため、岩見沢市と協働で様々な取組みを行ってみませんか。

年齢や性別などは問いません。ぜひお気軽に事務局までお問い合わせください。

入会すると、イベントのお知らせや情報誌をお送りしています。  
入会費・年会費はありません。ぜひご入会ください！



## 編集後記

令和4年度は、新型コロナ、ウクライナ侵攻、北朝鮮のミサイルと暗い話で明け暮れた一年でした。どこでどのように落ち着くのでしょうか？

今号では、“アンコンシャス・バイアス”について考えました。偏見や従来の思い込みが抜けず、男性の育休も取りづらいようです。“あ・らいくな人”のMAYA MAXXさんは、住む場所を変えたら物の見方も変わったとのこと。ユニークなコミュニティバスも走るようになりました。

少しずつですが、多様性をお互いに認め合える社会になるよう努力していきたいと思います。

発行 いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議

【事務局】岩見沢市市民環境部市民連携室  
男女共同参画担当

ア・ライク  
VOL.21  
2023年3月

〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
☎（直通）0126-35-4271  
（代表）0126-23-4111（内線 2114）  
E-mail danjo@city.iwamizawa.lg.jp